

# 2005年度(2006年3月期) 決算説明会

2006年4月26日

 株式会社 日立物流

【お問合せ先】  
総務・コミュニケーション本部 広報・IRグループ  
Tel: 03-5634-0307 Fax: 03-5634-0295  
E-mail: koho@cm.hitachi-hb.co.jp

# 2005年度業績概要



( 単位:億円、端数四捨五入、( )内は利益率(%) )

	'04年度 実績	'05年度 計画	'05年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)
売上高	2,709	2,800	2,857	105	102
営業利益	(3.3) 88. <sup>3</sup>	100	(3.6) 101. <sup>5</sup>	115	102
経常利益	(3.3) 90. <sup>2</sup>	100	(3.6) 103. <sup>0</sup>	114	103
税引前利益	※ (4.8) 130. <sup>4</sup>	96	(3.4) 98. <sup>2</sup>	75	102
当期純利益	(2.5) 66. <sup>5</sup>	49	(1.8) 50. <sup>9</sup>	77	104

※ 特別利益(固定資産売却 他)62億円、特別損失(減損会計適用 他)22億円

(○は株主資本比率(%))

		'04年度	'05年度	増減
総資産(億円)		1,996	2,010	14
株主資本(億円)		62 1,233	64 1,278	45
1株当たり株主資本(円)		1,103.74	1,144.72	40.98
(参考)1株当たり経常利益(円)		80.83	92.34	11.51
1株当たり当期純利益(円)		58.33	44.37	▲13.96
指標	ROE(%)	5.5	4.1	▲1.4
	PER(倍)	17.5	27.8	10.3
	PBR(倍)	0.92	1.08	0.16
株価(円)		('05.3.31) 1,018	('06.3.31) 1,235	217

# 2005年度セグメント別業績

(単位:億円/年、端数四捨五入、< >内は前年比、○は構成比(%))

	売上高	営業利益	売上高内訳			
			システム物流(3PL)		小計	その他
			一般向け	日立G向け		
国内物流事業	<104> ○71 2,027	<110> ○85 151	<110> ○41 1,163	<103> ○16 451	<108> ○57 1,614	< 93> ○14 413
国際物流事業	<109> ○22 636	<106> ○11 20	<141> ○7 222	<137> ○7 203	<139> ○14 425	< 77> ○8 211
その他事業	<104> ○7 194	< 62> ○4 7	—	—	—	<104> ○7 194
(消去又は全社)	—	▲76	—	—	—	—
合計	<105> ○100 2,857	<115> ○100 102	<114> ○48 1,385	<111> ○23 654	<113> ○71 2,039	< 90> ○29 818

## 物流プラットフォーム事業

共同物流による運営効率化

物流コスト低減

環境負荷低減

### メディカル物流センター(仮称)



- '06/12稼働予定 (大阪府大阪市)
- 建物面積 56,500㎡ (17,000坪)
- 取扱商品 医薬品 等

### 東日本プラットフォームセンター



- '05/4稼働 (埼玉県加須市)
- 建物面積 76,500㎡ (23,000坪)  
(増築分含む)
- 取扱商品 トイレットリー製品 等



西日本

東日本

## 物流子会社の再構築

- メーカー子会社の物流部門買収('05/6)

## 事業拠点の整備・拡充

- 成田航空センター('05/5)
- 生麦物流センター('05/8)
- 北米(ラレド)新拠点('05/7)
- 東欧(チェコ)、アジア(ベトナム)事業所('06/3)

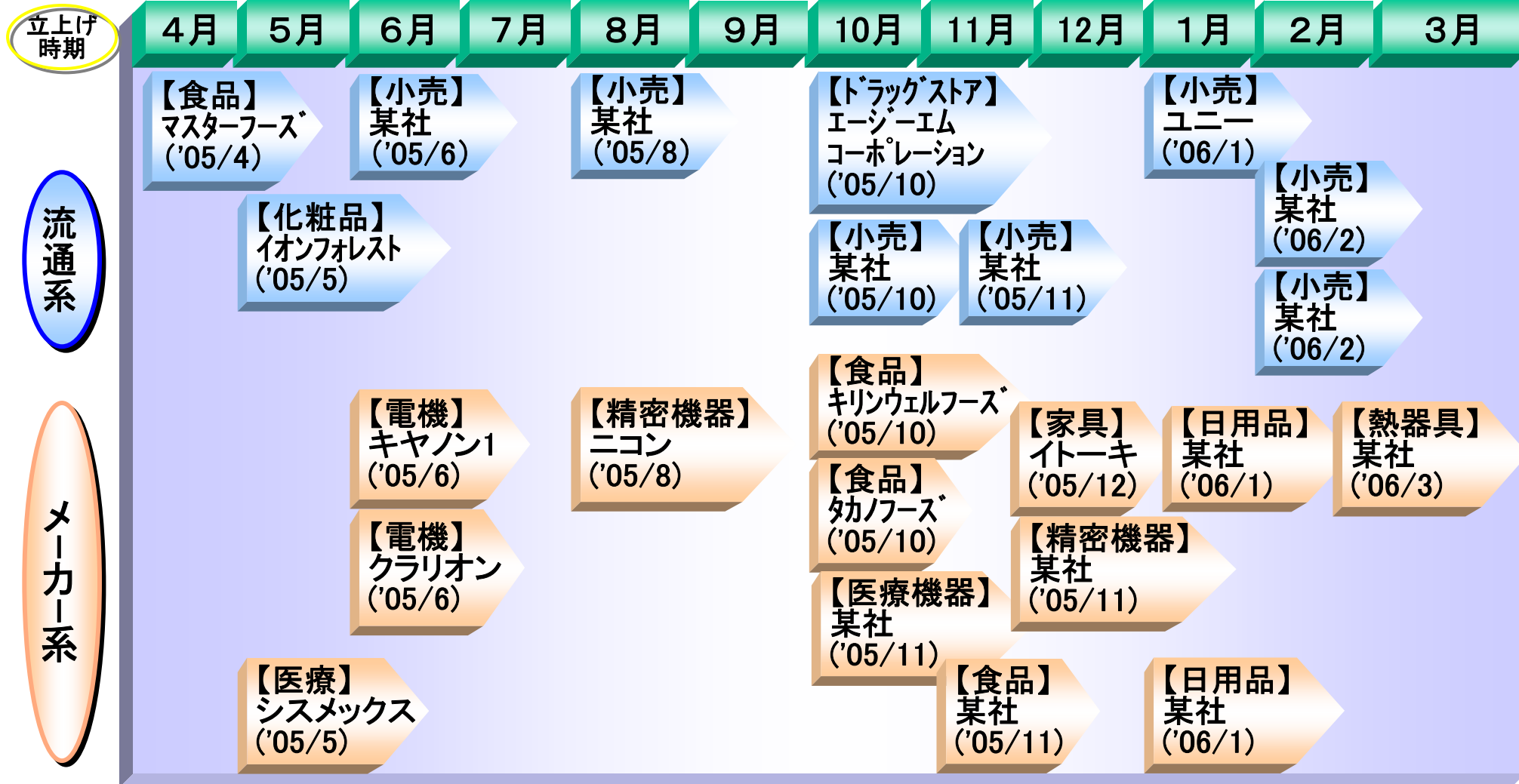
## 最先端の物流技術研究・開発

- 再生医療用培養細胞の携帯型定温輸送容器開発

## '05年度 主な立上げ案件

23件

( )内は立上げ時期



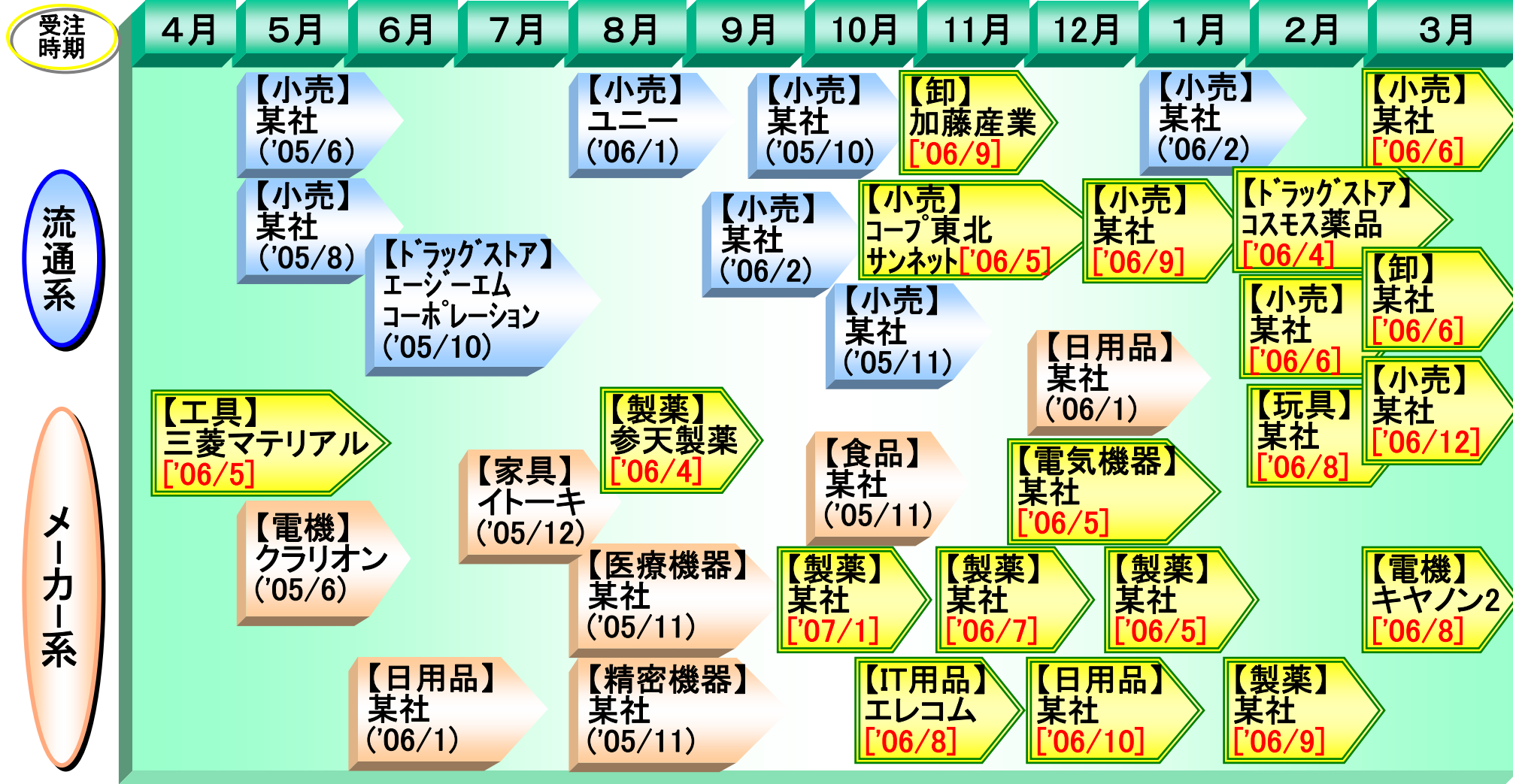
# 2005年度トピックス ~システム物流受注案件

'05年度 主な受注案件

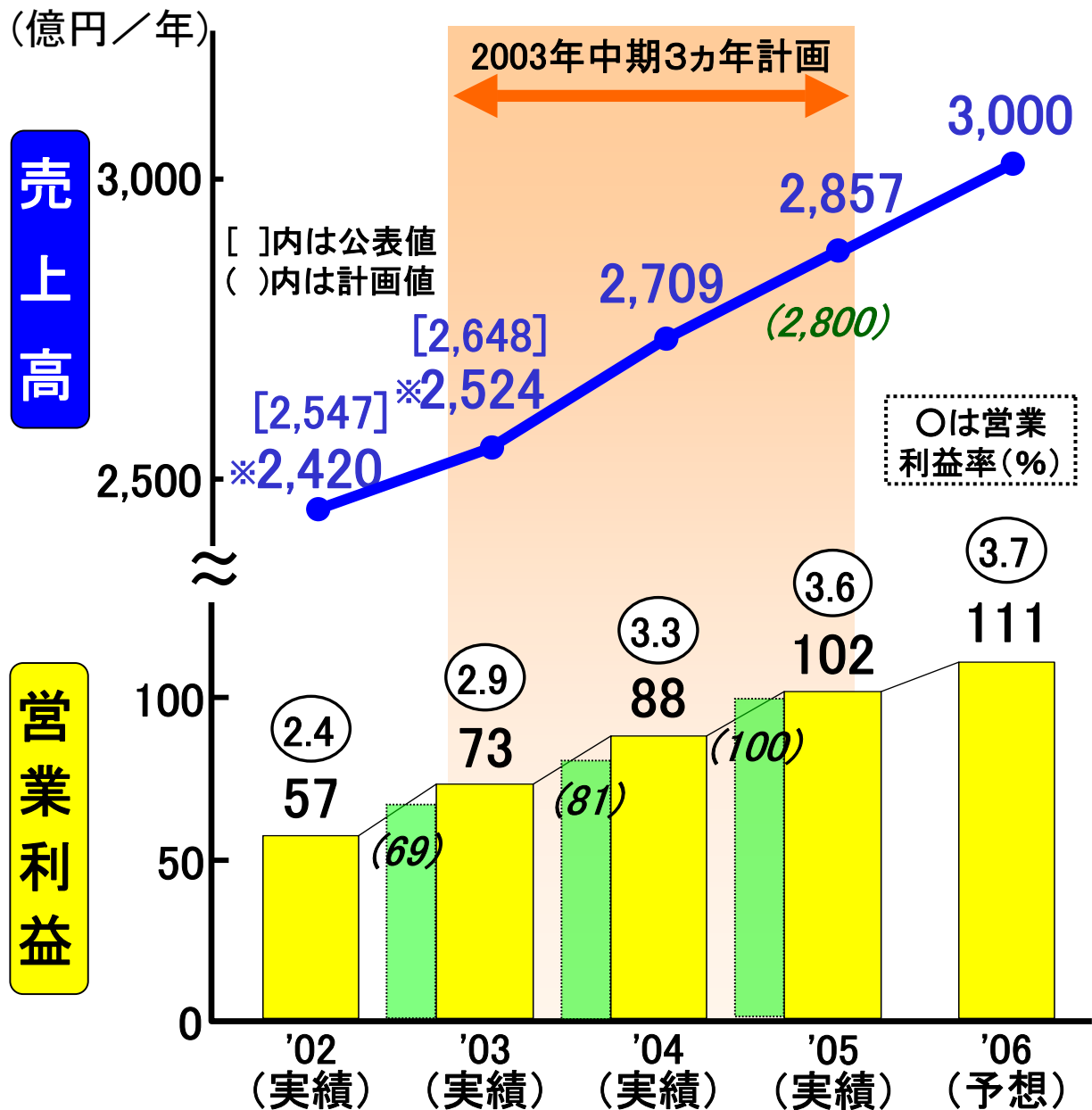
34件

は'05年度立上げ = 15件

は'06年度立上げ予定 = 19件



# 中期3カ年計画の総括



## 2003年中期計画の成果と反省

- 事業構造の転換  
システム物流比率7割突破
- 高収益体質の確立  
営業利益100億円突破
- グローバル化のスピード遅れ

※ 旅行代理店事業計上方法修正ベース

(億円/年)

## システム物流比率の拡大

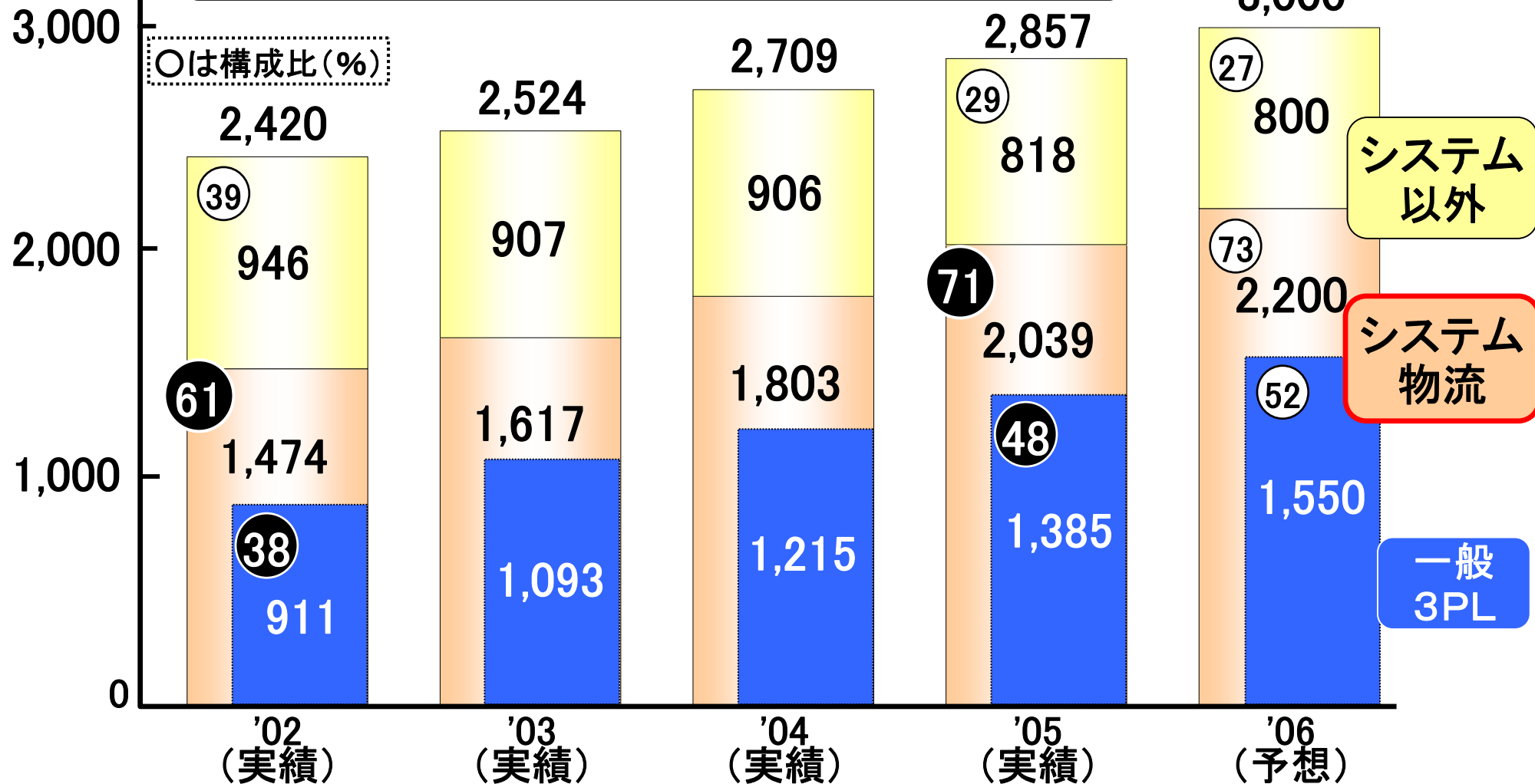
'02年度

61%

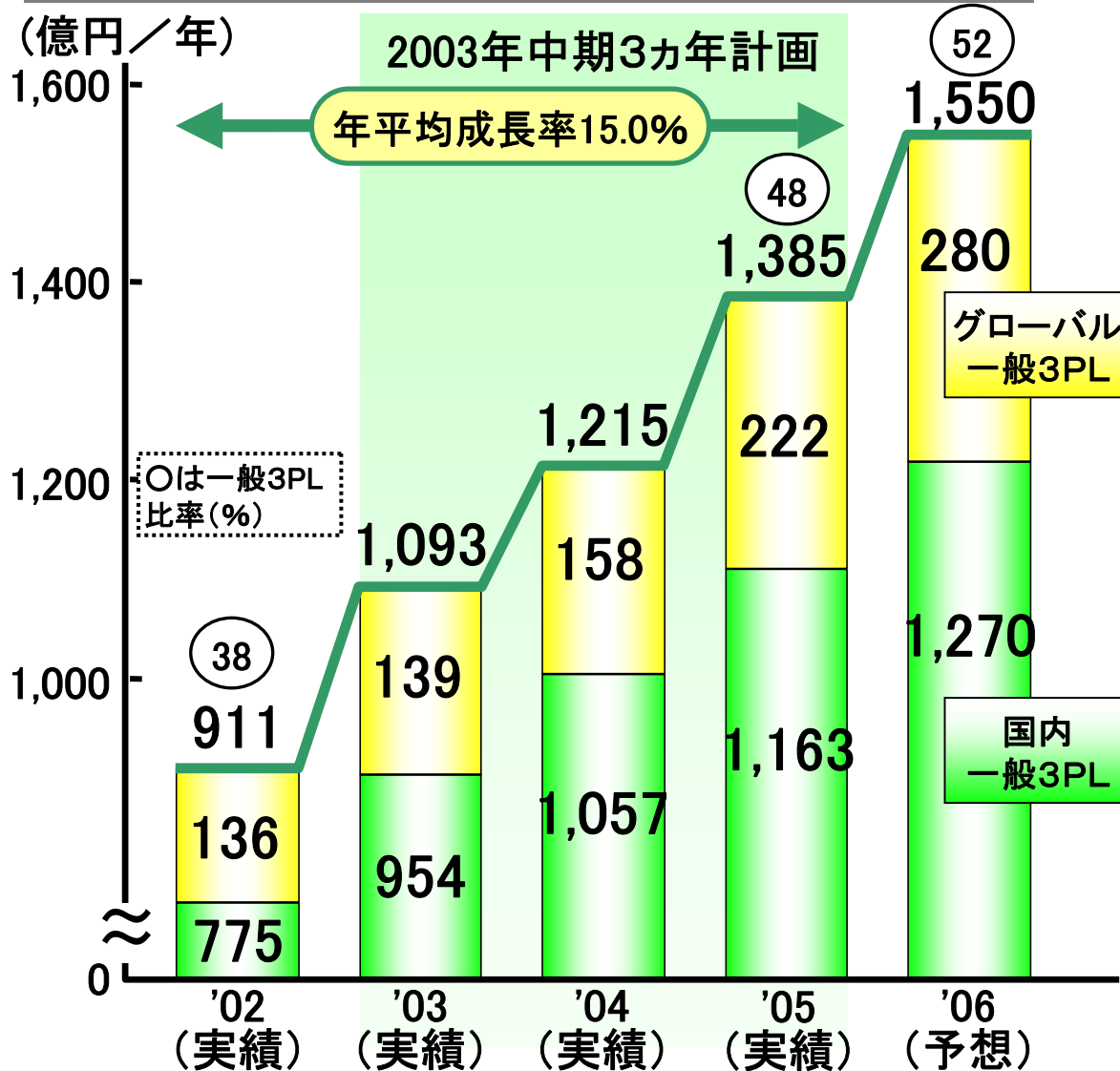


'05年度

71%



### システム物流(一般向け3PL)売上高推移



〔 '02年度 → '05年度 〕

#### ● 一般3PL比率の拡大

38% → 48%

#### ● システム物流要員の増強

385人 → 481人

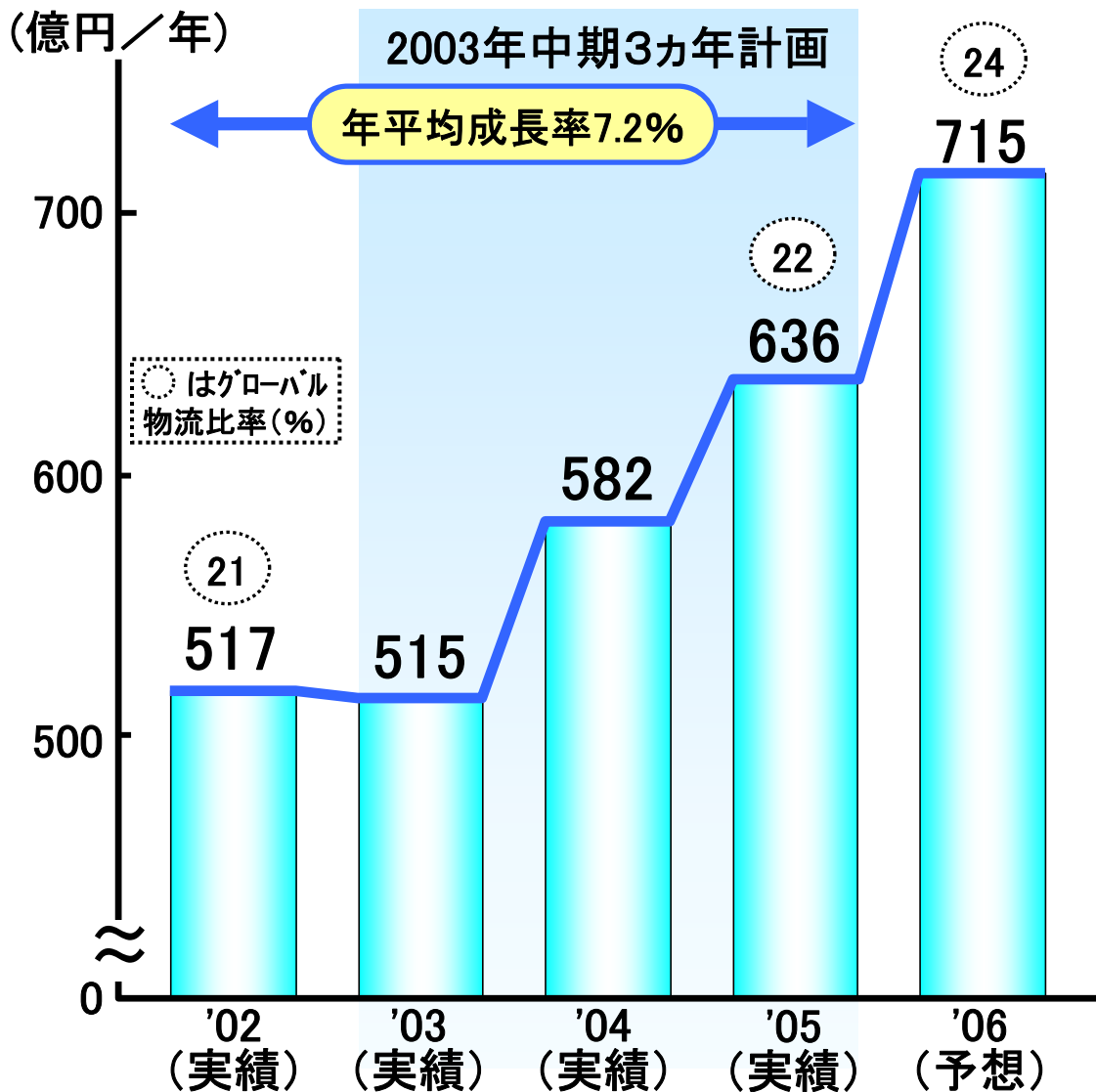
#### ● 物流センターの拡充

126万㎡ (38万坪) → 204万㎡ (62万坪)

#### ● 営業チャネルの拡大

- ・日立共同3PLの推進
- ・日本郵政公社との提携

### グローバル物流売上高推移



( '02年度 → '05年度 )

### ●物流拠点・人員の拡充

84拠点 → 111拠点

1,916人 → 3,068人

### ●北米事業の拡大

(ボーダー物流等)

115億円 → 156億円

### ●中国事業の強化

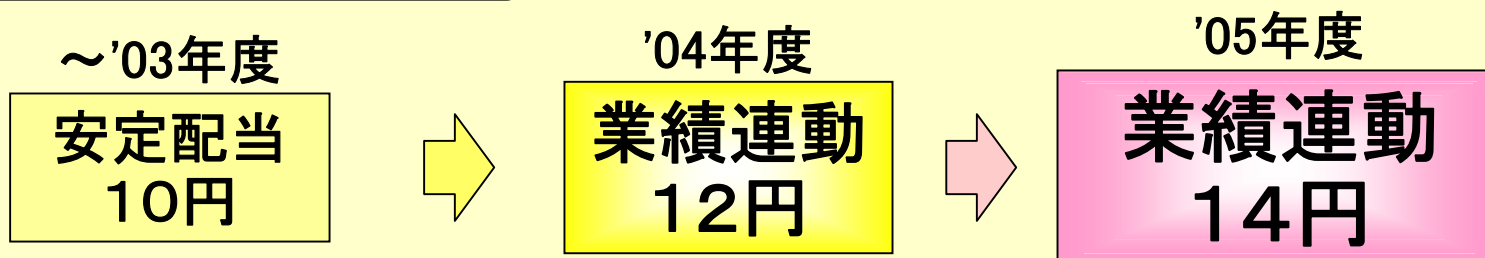
160億円 → 283億円

(非連結会社含む)

6社18拠点715人

→ 8社43拠点1,771人

### ➤ 株主への利益還元

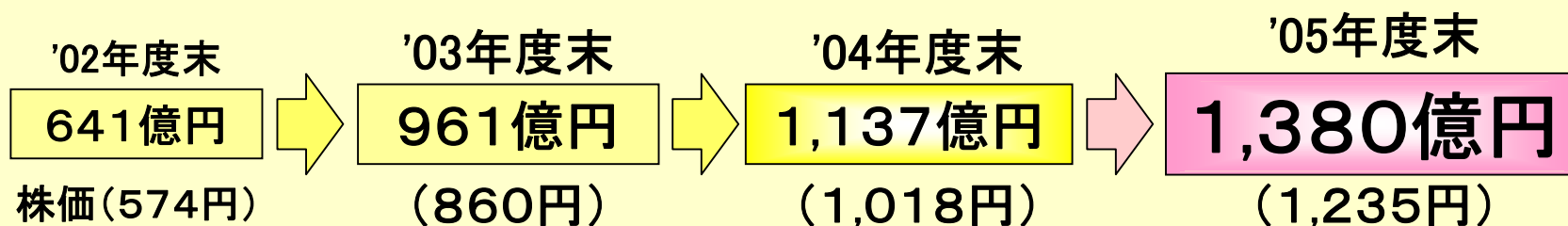


### ➤ 流動性の改善

2006. 1. 1付 実施

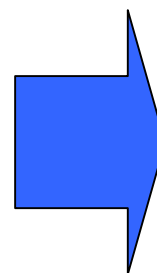
株式投資単位の引下げ(1,000株⇒100株)

### ➤ 時価総額の拡大



## 経営目標

	'05年度
◆売上高	2,857億円
◆営業利益	102億円
◆売上高営業利益率	3.6%



'10年度目標	
5,000億円	
250億円	
5%	

設備投資金額	5年間累計1,000億円
物流センター面積	'05年度204万m <sup>2</sup> (62万坪) →'10年度350万m <sup>2</sup> (106万坪)

	'10年度目標
システム物流売上高	4,400億円
内、一般3PL	3,500億円
グローバル事業売上高 (国際セグメント) 比率	'05年度比3倍増 40%

## 重点施策

- (1) システム物流(3PL)の更なる強化
- (2) グローバル事業の加速
- (3) 企業の社会的責任(CSR)の完遂

(1)システム物流(3PL)の更なる強化を通じ、  
収益力の向上を図ります。

- ①新たなビジネスモデルの開発による事業拡大の推進
  - ・「業界プラットフォーム事業」の強化
  - ・技術力を活かした「機工型3PL事業」の提供
- ②M&A(物流子会社再構築事業など)を通じた  
事業規模の飛躍的拡大
- ③パートナーとの「共同3PL事業」展開による  
幅広いお客様からの受託拡大
- ④物流先端技術開発など  
日立グループの強みを発揮できる取組みの推進

**(2) グローバル事業の加速により、  
事業規模の飛躍的成長を図ります。**

- ① お客様に最適で高品質な物流システムを提供する  
「グローバル3PL事業」の推進
- ② 北米・中国など重点地域における更なる事業拡大と  
東欧・アジアなど新興地域への進出
- ③ 「ボーダー物流事業」に続く新たな戦略商品の開発・受託
- ④ 事業拠点拡充など貨物集荷力向上を通じた  
「航空フォワーディング事業」の強化

**(3) 企業の社会的責任(CSR)を重視し、  
企業価値向上に努めます。**

- ① モーダルシフト推進など「省エネ型物流」を通じた  
環境配慮の取組みの実施
- ② 安全教育の強化・徹底と次世代を見据えた人材の育成
- ③ コンプライアンスの重視、内部統制機能の確立など  
経営管理体制の強化
- ④ ROE等経営指標の改善など株主価値向上施策の実施

## 2010年度目標

～2010年創業60周年～

◆売上高	5,000億円
◆営業利益	250億円
◆売上高営業利益率	5%

- ◆ **システム物流(3PL)ナンバーワン企業** としての優位性を活かし、かつ他社との差別化により陸運業界を代表する会社を目指してまいります。
- ◆ お客様や地域社会などから信頼され、**豊かな社会づくりに貢献する会社** を目指してまいります。